

素人女子がテレビ番組の罰ゲームで鼻フックを受け、悶絶する

俺がひそかに楽しみにしているテレビ番組がある。

その番組は、一般の素人女子に芸人が街中で話しかける。

『欲を出すと女性はイッてしまうのか』を検証する企画だ。

具体的には、クイズを出されて、それに答えられたら賞金がもらえる。

でも、答えられなかったら、恥ずかしい罰ゲームを受けないといけない。

恥ずかしい罰ゲームを受ける可能性があっても、クイズに挑戦するのかを検証するというものだ。

芸人が声をかけるのは、街中を普通に歩いている若い女性だ。

大学生だったり、若い OL だったりする。

クイズを出して、そのクイズに自分で答えられたら、10 万円が手に入る。

誰か知り合いにその場で電話をして、その知り合いがクイズに答えられたら、5 万円が手に入る。

でも、答えられなかったら、罰ゲームを受けることになる。

罰ゲームは鼻フックだった。

鼻をひっかけて、背後に引っ張られている籠

の中に、リンゴをどんどん入れていく。
素人女子が豚鼻を披露するシーンをドアップでテレビで放送される。
俺としては、どんな AV よりも興奮できる素材だった。

ある日の番組の放送で、かなりレベルの高い女性たちが鼻フックを披露してくれた。
1人目は、来年から高校の教師として働くという女性だった。
同じ、教員になるという教育大学に通う彼氏と歩いているところを声をかけられた。
教員志望ということもあり、清楚な見た目で、黒髪でかわいい。
こんな若い女の先生だと、高校生の生徒たちもテンションが毎日上がるだろう。
こんな真面目そうな女子大生が、罰ゲームを受けることになるかもしれないと期待が高まる。
芸人に企画の趣旨を説明された後、クイズを受けるかどうか尋ねられる。
女性は悩んだ末、クイズを受けることにした。
さっそくクイズが出される。
「野球で1試合に1人でヒット、2塁打、3塁打、ホームランを全て打つことを特に何と言うでしょう？」
答えは10秒以内に言わなければいけない。
「えー、野球。わかんない。わかんない。どうしよー」
清楚黒髪 JD が焦りながらそう話している。
野球を知っていれば、大体の人が答えられる

問題だけど、知らない人は全然知らないだろう。

結局、答えを言えずに、時間切れになった。

「残念ー」

と芸人が言う。

「じゃあ次は、同じ問題で誰か他の人が答えられたら、5万円になります。挑戦しますか？」

芸人にそう尋ねられて、JDが傍らにいる彼氏の方をちらっと見た。

「あっ、彼氏さんが次答えてもいいですよ。でも、彼氏さんがわかってそうだとか、目で合図したりするのはなしですよ」

彼氏は微妙な表情をしていた。

「どうしよー。どうしよっかなー。でも、じゃあやります。彼氏に答えてもらいます」

「おっ。ありがとうございます。さー、彼氏はこの問題わかるのでしょうかー。そして、彼氏が答えられなかったときは、彼女が罰ゲームを受けます」

途中でリタイヤすることも許されているけど、清楚系JDは金に目がくらんで欲を出してイッてしまった。

「さー。問題は同じ問題です。野球で1試合に1人でヒット、2塁打、3塁打、ホームランを全て打つことを特に何と言うでしょう？じゃあ、彼氏さん、答えてもらいましょう。10、9」

「ヤバい、ヤバいって。まじわからん」

「えー、嘘ー」

どうやら彼氏も野球は知らないようだった。

「5、4、3」

「なんか言って。なんか言って」
清楚 JD が必死に言っている。
「えー、マジわからん。なんも出てこん」
「2、1。残念ー。時間切れです」
芸人が無常の宣告をする。
「正解はサイクルヒットでしたー」
大学生カップルがうなだれている。
教師の卵、清楚系 JD の罰ゲームが決定した。
俺の股間がむくむくと反応しだす。
「さー、彼女に受けてもらう罰ゲームは」
ここで芸人は少し間をためる。
「鼻フックです！」
一瞬、静まり返った後、JD は話し出す。
「えー、いやです。いやです」

その後、屋内に移動して、罰ゲームの様子が流れる。
既に JD の鼻にはフックがつけられている。
まだ、豚鼻ではないが、鼻にフックをつけると
いう、はしたない状況になっている。
「さー、どんどんいきますよー」
芸人が後ろの籠にリンゴをどんどん入れていく。
「イヤー。あー」
JD が悲鳴を上げる。
鼻がどんどん上へと、持ち上げられ、鼻の穴の
中が丸見えになる。
カメラはその穴の中までも容赦なく映し出す。
豚鼻で、鼻毛も丸見え状態だ。
彼氏の目の前で、これが行われていることで、